

令和7年度 福井県立若狭高等学校(定時制) 学校関係者評価書

(問)

- ・重点目標や具体的な取組が適切か。
- ・総括評価書の「成果と課題」が適切か。
- ・総括評価書の「改善策・向上策」が適切か。 ・学校評価書の成果と課題が適切かどうか。
- ・成果と課題を踏まえた今後の改善策・向上策が適切か。

(意見を聞いた方)

定時制振興会 会長・副会長 定時制 育友会会長

(意見欄)

○教育課程・学習支援・研修

- ◆基礎学力充実への取り組みについて
- ◆学習に対する興味・関心・意欲を高めることについて

いずれも適切。

肯定回答の高さは指導が浸透していることの証であり存在意義でもあります。先生方のご努力に敬意を表します。

課題は「個に応じた」「適切な」点に目標管理の意識が向いていない事ではないでしょうか。一律の課題で良しとして済ませていないでしょうか。

探究的な学びが充実され評価も高いという事です。今後とも期待しています。目標の授業の実践60%は少々低く見積りすぎないか。

○生徒支援

- ◆生徒会活動の充実に関する取り組みについて
- ◆自他を尊重する意識を高め、自分自身の生き方をみつめさせる取り組みについて
- ・適切。

生徒が主体となって、自ら考えて行動する生徒会をこれからも継続していただきたいです。

生徒会活動は夜間の時から伝統的に素晴らしい実践が行われてきました。昼間制になっても維持されているという事なのでありがたいと感じています。

○進路支援

- ◆卒業後の進路について理解を深めさせ、将来の生活設計について考えさせる取り組みについて
- ・適切。

生徒が1番不安で最も期待している所です。進路への意識付けがしっかりなされているという事なので高い肯定評価の通り良い取り組みができていると思います。

学校でのボランティア活動行事が生徒の自己発見や進路実現につながっている様に思い大切にして充実していただきたいと思います。

○全体(総括)

・適切。

ICTの活用をぜひ進めていただきたい。生徒一人ひとりに寄り添った、教育をしていただき、ありがとうございます。

多様な生徒が学ぶ学校です。個別最適な指導の実践をぜひお願いしたい。

(学校関係者評価を踏まえた今後について)

○教育課程・学習支援・研修

総合的な探究の時間のさらなる充実を図り、日常の学びが生徒個々の生き方・人生についてより考えを深めるものになるようにしていきたい。

そして、日常の学びに関する意識・意欲を高め、進路選択や社会的自立につながる学びを模索したい。

また、学び直しの機会をはじめ個別最適な学習環境の充実に努めたい。

○生徒支援

生徒会活動が、社会の仕組みについて実践的に学ぶ機会となっている。また、生徒達の主体的・対話的な学びと活動の場所として大切にしていきたい。

○進路支援

生徒に対する全体講演会、個別の対応は成果を上げている。今後は、保護者を交えた進路学習の機会を設定していきたい。